



# 事例から学ぶ、看取りケア研修

安心して住み続けられる“まちづくり”的な多職種連携

道東勤医協は、地域の高齢化が進む中で、急性期医療から回復期、在宅療養を支える医療へと役割を大きく転換しています。

これは、「住み慣れた土地で、すこやかに暮らしたい」と願う方々の思いを叶えるという理念に基づいています。

本研修会では、ご家族の「家に連れて帰りたい」という願いと、誤嚥性肺炎を繰り返し嚥下機能が低下した患者様の「食べたい」という思い。その両方を多職種で支え、「お食いじまい」を経て穏やかな看取りを実現した事例をご報告します。

在宅療養を継続し、最期までその人らしく生きるためのケアと連携のポイントを共有します。



小笠原 摩紀 氏

## 1 事例発表

### 患者・家族の願いを叶える在宅療養支援

#### ～お家の「お食いじまい」～（40分）

釧路協立病院 在宅療養支援室 看護師 小笠原 摩紀 氏

## 2 グループワーク

### 事例から考える！「多職種連携で実現する看取り」（30分）

釧路協立病院の在宅療養支援室にて、訪問診療同行看護師として診療補助や在宅療養支援に従事。また、ケアに携わる人たちの横のつながりと居場所を作るため「Care Cafe くしろ」の運営も行っている。

【日 時】

2026年2月17日（火）19時～20時30分（受付18時30分～）

【場 所】

釧路赤十字病院 4階講堂（釧路市新栄町21-14）

【参 加】

会場の都合から定員が100名となっています。定員が100名に達し次第、

それ以降のお申込みはオンライン参加のみとなりますので、ご了承ください

【申込み】

2月10日（火）までにお申込みください。

【費 用】

事前申込み・二次元コードをご利用ください。

無料

【問合せ】

ccl.20180906@gmail.com ※メールでお願いします



申し込み  
フォーム

## 【募集】研修会で貴社のPRをしませんか？

本研修会では、参加者の皆様が所属する機関・事業所の活動を紹介する機会をご用意しております。

ご希望に応じて、研修会当日にチラシ等の資料配布が可能です。配布をご希望される場合は、研修会のお申込みと併せてその旨をお知らせください。後日、配布に必要な部数等について個別にご案内いたします。